

# まちのわだい

## 惜しまれながら35年の歴史に幕

〜Aコープみぞくち店閉店〜

1月15日(月)、J A鳥取西部の子会社が運営するスーパー・Aコープみぞくち店が閉店し、35年の歴史に幕を下ろしました。

Aコープの担当者によると、大型店やコンビニエンスストアの進出などで来店客数が年々減少し、今後の業績回復は難しいとの判断から閉店に踏み切ったとのこと。営業最終日には閉店のセレモニーが行われ、J A鳥取西部の中西組合長が、集まった常連客らに感謝を述べました。また、閉店当時からスーパーを利用してという女性が訪れ、「いつも通っていたので、無くなると聞いてとてもさみしい」と閉店を惜しまました。

なお、Aコープの店舗には、スーパーまるごうを展開する(株)丸合がまるごう溝口店を移転するかたちで店舗を引き継ぎ、営業することです。



「ご愛顧ありがとうございました」の横断幕とともに閉店

## 情報化の中で

### 子どもを育てるために

〜青少年育成伯耆町民大会〜

1月28日(日)、農村環境改善センターで青少年育成伯耆町民大会が開催されました。この大会は、伯耆町の青少年が健全に育まれる家庭づくりを目指して毎年行われています。

今年度は「情報化社会を正しく生き抜く子どもを育てよう」をテーマに、一般財団法人マルチメディア振興センター・e-ネットキャラバン認定講師の石橋克巳さんによる講演が行われました。石橋さんは、「インターネットの安心安全な使い方」子どもたちをネットの被害者にも加害者にもさせないために」と題して講演。実際にあったトラブルを紹介し、子どもたちがインターネットの危険を正しく理解しトラブルに合わないための方法を、保護者や子どもたちにわかりやすく伝えていました。

また、大会の後半には第11回家庭の日川柳表彰式も行われ、入選者が川柳を読み上げました。なお、入選作品は10ページに掲載していますので、ぜひご覧ください。



入選者のみなさん

## 交流を通して挑戦する力を

〜溝口中学校 CHA<sup>3</sup>プログラム〜

溝口公民館で2月6日(火)、鳥取県教育委員会が主催するCH<sup>3</sup> (チャチャチャ) プログラムが行われました。

このプログラムは、中学生と地域の大人・大学生が働き方や生き方などのテーマに沿って自由に話すことで、中学生の将来の目標づくりやふるさとへの愛着心を育もうと、溝口中学校で毎年行われています。

この日は溝口中学校2年生、島根大学生、地域住民など合わせて約50名が参加し、「人から言われた、自分のいいところは?」「働くってどんなこと?」などのテーマで自由に話し合いました。この活動を終えた中学生は「将来のことを考える、いいきっかけになりました」「大学生や地域の人の話を聞いて、伯耆町のことをもっと知りたいと思います」「など」と振り返りました。



どのテーマも盛り上がりしました